

建築とまちづくり展 2012

「あらためて生活の豊かさを問う」

～地震・津波・原発災害を体験して～

東日本大震災と東電福島原発事故は、被災者救済支援、復興への国民あがての努力とともに、政治・経済・エネルギーなど社会の基盤から生活スタイルに至る私たちの暮らし全般を見直し、深く考察し、再出発を要求する、いわば文化的転換を根底から求める大事件でした。

私たちは、この「建築とまちづくり展」を通じて、改めて「生活の豊かさとは何か」について原点に返って問い、今後進むべき道筋について、皆さんとともに考えてみたいと思います。

日時： 10月28日（日） 10:00～17:00

場所： コア・いけぶくろ(豊島区民センター) 1階ホール&4階会議室

豊島区東池袋 1-20-10（JR山手線池袋東口から徒歩5分）

<4階会議室> 参加費：講演、ワークショップ 各500円

<講演1> 10:20～11:50

東日本大震災から学び、首都圏直下型地震にいかに対応するか

講師：室崎 ^{むろさき} 益輝氏（関西学院大学総合政策学部教授 専門：防災計画学）

東日本大震災では、巨大津波の襲来と原発の爆発が未曾有の大被害をもたらしました。首都圏では、直下型地震や東海・東南海・南海の3連動地震が差し迫っており、それによる被害は規模や深刻さにおいて東日本大震災を遙かに凌ぐと予想されており、対策と備えは急を要します。

東日本大震災の特徴と、首都圏における地震被害の科学的予想から、私たちは今何をすべきかを学びます。

<講演2> 13:00～14:45

自然環境とすまい—京町家と中東のコートヤードハウスから学ぶ—

講師：片方 ^{かたがた} 信也氏（日本福祉大学健康科学部教授 専門：都市計画・建築計画）

福島第一原発の爆発は、原子力発電依存の底なしの危険性をまざまざと教えました。即脱原発への舵切りは必須です。一方で、温室ガスの大量排出にも人類および地球生物の未来はない中、私たちはエネルギー利用とエネルギーの選択を環境共生の方向に大きく進めなければなりません。

人間は、与えられた環境の中で工夫をし、知恵と技術を蓄積して、今日まで生き抜いてきました。京町家と中東の住居の有り様から環境共生の知恵を学び、私たちのあり方を考えたいと思います。

<デザインワークショップ> 15:00～16:45

デザインをあそぶ

講師：丸谷 ^{まるや} 博男氏（建築家）他

実際に手を動かしながら、デザインを学びます。大人から子供までが参加できるワークショップです。事例やワークショップを通して、日本のデザイン感性を身につけます。

<1階ホール> 参加費：無料

■ショートトーク

- | | | |
|--------------|--------------------------------|-------|
| ①10:30～11:00 | 省エネの住まい | 金田 正夫 |
| ②11:20～11:50 | 高齢者から子育てまで、富山型の共同建替え事業 | 丸山 豊 |
| ③12:30～13:00 | いま、被災地で何が……新建の取り組み | 鎌田 一夫 |
| ④13:20～13:50 | 木造耐震診断・耐震改修 | 高本 明生 |
| ⑤14:10～14:40 | マンション防災とコミュニティ | 若山 徹 |
| ⑥15:00～15:45 | 新建築家技術者集団の紹介
ひと裁ち折りと山本厚生の世界 | 山本 厚生 |

■パネル展示

1. 東日本大震災被災地への支援と復旧・復興への取り組み
2. エネルギー利用……原子力依存からの脱却と環境共生
3. 安全・安心のまちづくり・地域防災への取り組み
4. 生活の豊かさ……高齢化・少子化対策の取り組み
5. 大切な表現力……技術としてのデザイン、地域をつくるデザイン

■建築・まちづくり相談コーナー

木造住宅耐震診断、マンション相談、新築・リフォーム、欠陥住宅、その他
(たくさんのお専門家がお待ちしております。)

■協賛企業パネル展示ブース

<会場地図 コア・いけぶくろ>
JR 池袋駅東口より約 5 分

(主催)
新建築家技術者集団東京支部
〒162-0811 新宿区水道町 2-8
長島ビル 2階
TEL 03-3260-9810
FAX 03-3260-9811
e-mail
shinken-tokyo@group.email.ne.jp
協賛) NPO 法人設計協同フォーラム
NPO 法人建築ネットワークセンター

